

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 11 日

事務事業名		岩瀬東部認定こども園管理運営事業		事業区分		担当	
				新規/継続		事務事業No. 020201000784	
				単独/補助		040201	
政策体系		政策体系上の位置付け		主要事業		所属課	
総合計画の施策名		0202 子育て支援及び少子化対策		市長マニフェスト		児童福祉課	
政策名		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり		未来PJ事業		グループ	
施策名		01 子育て支援及び少子化対策		合併建設計画事業		東部認定こども園グループ	
基本事業名		01 子育ての支援体制の充実		合併建設計画事業			
		財務会計上の位置付け		事業期間			
予算科目		一般会計		単年度繰返し (年度~)			
会計		岩瀬東部認定こども園事業		← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
款							
項							
目							
事業							
細							
01							
03							
02							
05							
04							
00							

法令根拠 児童福祉法第35条第3項

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
(事務事業の内容) 7カ月~就学前児を預かり、保育教諭が教育・保育にあたる。(1号 AM9:00~PM2:00、2・3号 AM7:30~PM6:30)また、延長保育(PM6:30~PM7:00)を実施している。なお、土曜保育を1日(AM7:30~PM6:30)の預かりとし、岩瀬認定こども園でやまと認定こども園・岩瀬認定こども園・岩瀬東部認定こども園の児童を預かる。また、一時預かり保育も行っている。 (教育・保育内容) 0・1・2歳児・・・生活指導の介助・製作指導(シール遊び) 3歳児・・・生活指導の自立(食事・排泄・衣服の着脱) 4・5歳児・・・衛生面の指導・学習指導(文字指導等) 人件費は保育所非常勤職員経費で計上	一緒に遊びながら生活習慣を身に付けさせ子どもが楽しく過ごせるように見守る。各こども園で、誕生会・保育参観・運動会・生活発表会などの行事を行っている。業務内容としては、保育教諭が児童の健康状態を常に把握し、発達段階に応じて援助、導いている。年間行事は職員と保護者役員とで検討し、次年度の年間行事予定を作成、年度始めに保護者に配布、保育内容について説明している。また、延長保育での業務内容は、保育教諭により長時間保育希望届の作成、就労証明書の受付、内容のチェック審査を行っている。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・1号認定9:00~14:00 ・2,3号標準保育:7時30分から16:00 ・2,3号短時間保育(7:30~16:30)延長18:30 ・土曜保育は7:30から18:30まで(岩瀬・岩瀬東部・やまとの児童を預かる)	開所日数	日	294.00	294.00	294.00	294.00	0.00
	行事の数	回	27.00	47.00	47.00	27.00	0.00
	行事作成のための会議回数	回	30.00	30.00	30.00	30.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
こども園に入園している児童と保護者	入所児童数	人	95.00	134.00	134.00	134.00	0.00
	保護者数	人	74.00	111.00	111.00	102.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
入園児童が安心・安全に楽しく過ごせる。仕事と子育ての両立ができる。	子どもの年間怪我数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	延長保育の利用者数	人	7,380.00	12,300.00	12,300.00	12,300.00	0.00
	子どもが楽しく過ごしていると思う保護者の割合	%	97.00	98.50	98.00	98.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	5,681	11,231	9,590	9,590	0
	事業費計(A)	千円	5,681	11,231	9,590	9,590	0	
量 人件費	正規職員従事人数	人	8.00人	11.00人	10.00人	11.00人	0.00人	
	述べ業務時間	時間	14,577.70	18,527.82	18,500.00	18,500.00	0.00	
	人件費計(B)	千円	42,290	53,749	53,669	53,669	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	47,971	64,980	63,259	63,259	0	

28年度事業費 実績(千円)		29年度事業費 予算(千円)	
01 報酬	188	01 報酬	188
08 報償費	107	08 報償費	144
11 需用費	4,562	11 需用費	5,302
12 役務費	330	12 役務費	419
13 委託料	853	13 委託料	959
14 使用料及び賃借料	94	14 使用料及び賃借料	76
15 工事請負費	2,150	15 工事請負費	1,201
16 原材料費	32	16 原材料費	32
18 備品購入費	2,822	18 備品購入費	1,167
19 負担金補助及び交付金	93	19 負担金補助及び交付金	102
合計	11,231	合計	9,590

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	岩瀬東部認定こども園管理運営事業	事務事業No.	20201000784	所属課	児童福祉課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、働く保護者と幼稚園教育を希望する家庭を支援するためのこども園を平成28年に開園した。核家族・女性の社会進出に伴い、共働きの保護者が多くなりこども園に児童を預ける保護者が多い。少子化の傾向が強くなっているが低年齢児の入所児童数は増加している。近年、保護者の保育ニーズは高まり、我が子を中心として考える傾向が強くなっている。園に対する要望も増えている。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
改善点として、年齢別のクラス編成が望ましい、との意見があるが、アンケートの結果によると98%の保護者が安心して仕事に出かけられるという意見が寄せられている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	希望保育実施施設を減らすことにより、保護者に送迎の負担がかかってしまう。また、子どもが、慣れない施設なので不安が生じやすい。改善策として、各保育所から勤務にたる。さらに保護者に説明をし理解協力を得る。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている こどもたちが安全に楽しく過ごせるためには心身に共に健やかに育つことに結びつく。保護者が安心して子どもを預けられ、仕事の両立が出来る事、子育て支援の推進に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公立こども園の場合、家庭状況が厳しい子や心身発達に問題のある子など、保育を必要とするすべての児童を受け入れている。子育て支援は市としての課題であり、地域の核となる施設として教育・保育を行って行くことが必要である。
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある アンケートを実施した結果、98%の保護者が満足しているが、少数意見として行事日程の見直しについて要望があったので向上の余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 年間280日以上の開園が義務付けられており、ほかに手段はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 子供たちの健全で安全な保育のための必要経費であり、年々入園児も低年齢化していることから、安全・安心の保育教育のためには保育教諭の数を削減することもできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 保育料については、保護者の課税額に応じて設定しており、額については公正公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	こども園の運営については、目的妥当性、有効性、効率性、公平性のもとに適切におこなわれている。保護者からの要望が出た場合は、少しでも改善できるよう努力していく。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
保護者からの要望等については、物理的に困難な場合もあるが、保護者側と協議して解決していく。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果																						
		コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>